



わかばしんぶん

2026年

1月5日発行

第5号

若葉保育園

新年あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え、子どもたちの元気な笑顔とともに2026年のスタートを切ることができました。昨年は、子どもたち一人ひとりが「やってみたい」「できた」という気持ちを大切にしながら、友だちや保育士との関わりの中で、心も身体も大きく成長する姿がたくさん見られました。日々の遊びや生活を通して育まれる小さな気づきや挑戦を、職員一同、丁寧に受け止めてきました。

本年も若葉保育園では、子どもの思いや育ちを第一に考え、安心して過ごせる温かな保育環境づくりを大切にしていきます。自然や人との関わりの中で「わくわく」「ドキドキ」する体験を重ねながら、子どもたちが自分らしく伸びていけるよう、一人ひとりに寄り添った保育に努めてまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

楽しいお正月遊び(日本の伝承遊び)

若葉保育園では新しい年のはじまりに、日本の伝承遊び(コマ、羽根つき、かるた)を保育に取り入れています。子どもたちが昔から受け継がれてきた日本の文化や季節の行事に親しみ、楽しさを味わえるようにしています。

遊びの中で手先を使ったり、目で見て動きを合わせたりする経験を重ねることで、集中力や身体の使い方を育てていきます。

また、友だちや保育者と一緒に遊ぶ中で、ルールを理解して守ることや、順番を待つこと、応援したり気持ちを切り替えたりするを経験し、社会性やコミュニケーションの力につなげます。さらに、「できた」「もう一回やってみたい」という達成感を大切にしながら、挑戦する意欲や自信を育むことをねらいとします。

5歳児は年末に自分の「こま作り」をしました。今まで使っていたこまは紐を巻くもので、少し難しかったのでみんなができる「こま」にしました。マジックで色を塗り丁寧に作る様子が見られました。

新年1月9日は「新年福笑い会」も予定しています。会ではお正月の話を聞いたり、伝承遊びに触れ、最後には獅子舞も登場し、みんなで「わーはっはっ」と大笑いして、明るく元気な一年にしたいと思います。



地域子育て支援事業活動

わかぼっこ(保育所体験)

在園児と一緒に体操や絵本の読み聞かせなどの保育所体験ができます。

1月13日 親子でふれあい遊び

1月19日 親子でふれあい遊び

パパママ教室

出産を迎える保護者や祖父母、また、生後4か月までの乳児を子育て中の保護者に向けて保育士や看護師、栄養士などが子育ての疑問や質問にお応えします。

(随時受け付けていますのでお電話で予約をしてください)

公開保育で『子どもの育ち』を見つめ直しました

若葉保育園では12月11日に、社会福祉法人慈光会に属する各園の保育士の皆様をお迎えし、公開保育を実施しました。日頃の保育の様子をご覧いただき、学び合う機会として毎年行っている取り組みです。当日は約11名の保育士の方が参加され、「子どもの育ちを大切にする保育とは」を主題に、子どもの主体性や年齢に合った環境、保育者の関わりなどを多角的に見ていただきました。

参観者の方からは、園の保育テーマ「わくわくドキドキ」が日々の保育に浸透していることや、0～5歳児が歌や踊りを楽しむ取り組みが継続されていることについて評価をいただきました。また、運動活動では安全面への配慮が丁寧であることや、乳児クラスでは手作り教材や玩具の工夫、子どもの小さな表情や仕草を受け止める温かな関わりが印象的であったとの声もありました。

幼児クラスでは、3歳児が準備から主体的に関わる姿、4歳児が気づきを生かして製作に取り組む姿、5歳児が継続した活動を通して自信を深め、話し合いながら進める姿が見られました。さらに、職員同士が相談し合い、自然に連携する様子が落ち着いた保育につながっているという意見もいただきました。

午後の協議会では、参観でいただいたご意見をもとに保育を振り返り、今後のより良い実践につなげる時間としました。今後も若葉保育園では、子どもの育ちを中心に据えた保育と、チームワークを大切にした保育に取り組んでまいります。

